

2011年8月24日 電波

コンピュータ沖繩

コンピュータ沖繩(沖繩県うるま市州崎7-7、名護宏雄社長)は、仮想化、モバイルなど、話題の新技術をテーマにした提案強化で民間需要の開拓を図る。

仮想化ソフトは、ウイコムウェアをはじめストリックス・システムズ・ジャパン、日本マイクロソフトなど各メーカーを取り扱っており、顧客の状況に合わせて



名護 社長

仮想化とモバイルを提案できるのが特徴。仮想化の実績は約20社あり「県内ではトップクラス」(名護社長)という。しかし、導入実績の大半は

仮想化とモバイルを提案できるのが特徴。仮想化の実績は約20社あり「県内ではトップクラス」(名護社長)という。しかし、導入実績の大半は

仮想化とモバイルを提案

DC事業にも参入へ

官公庁や文教。名護社長は「民間への横展開を強化しているが、なかなか実績につなげていない」と話をアピールし、顧客への導入を加速したい考えだ。

与えて攻めに行く(名護社長)ため、自社のサーバを4月から仮想化した。民需を開拓するため、仮

11年3月期は文教や自治体などで大型の入札案件を獲得し売上高は前年同期比5・6%増の13億4200万円だった。12年3月売上高は11億円を予想する。